

小笠原国立公園兄島におけるグリーンアノール対策費

平成25年度補正予算額102百万円

小笠原諸島

- 昭和47年に国立公園に指定
- 平成23年に、固有種が多い独自の生態系、生物の進化を示す典型的な見本であることが評価され、世界自然遺産に登録



小笠原諸島父島(二見港)



小笠原諸島

グリーンアノールの侵入と生じている問題



グリーンアノール
(オガサワラゼミを捕食中)



捕食



左:オガサワラアオイトトンボ(父島で絶滅)
右:オガサワランジミ(父、兄、弟、姉島で絶滅)

グリーンアノールとは？

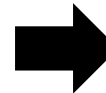
- 1960年代に父島に貨物に紛れ侵入
- 1980年代には、母島に分布を拡大
- 現在、**数百万匹以上に増加**
- 固有種であるオガサワラアオイトトンボやオガサワランジミなどの昆虫類を捕食し、**地域絶滅等の甚大な被害をもたらしている**

平成25年3月に
兄島で初めて確認

世界遺産としての兄島の価値

- ◆ 兄島は、小笠原諸島固有の乾性低木林の生態系が健全に残存する世界自然遺産の核心となる地域の一つ。
- ◆ グリーンアノールが兄島にて分布を拡大し、定着することは、世界自然遺産としての顕著で普遍的な価値を著しく損なうこととなるおそれ。

緊急
対策



具体的な対策

- ◆ 生息実態・分布実態の把握
- ◆ 粘着トラップによる数の低減
- ◆ 個体群の拡散防止
- ◆ 再侵入の防止



捕獲トラップの設置